

取組4 「練馬ならではの」の都市文化を楽しめるまちにします

区には、みどり豊かな環境のなかに美術館やホール、芸術系の大学があり、質の高い文化活動を展開している著名人が居住しています。また、区民の多彩な文化活動も活発に行われています。

プロフェッショナルな活動と、区民自らが参加する文化活動が、ともに楽しめる、そうした練馬ならではの都市文化を花開かせていきます。

① 質の高い文化芸術を身近で楽しむことができるようにします

名誉区民である狂言師の野村万作氏や能楽師の梅若万三郎氏をはじめ、日本を代表する一流の出演者が揃う「みどりの風 練馬薪能」を、平成28年10月、石神井松の風文化公園で開催しました。平成29年度は、独立70周年記念事業の一環として開催します。

練馬区文化振興協会に、初の民間理事長としてヴァイオリニストの大谷康子さんを迎えました。第一線で活躍する芸術家による公演や全国レベルの音楽コンクールを、練馬文化センターで開催します。

民間出身の館長の下、区内外から多くの方が来館している美術館では、引き続き、多彩でユニークな活動を展開します。

② 区民が文化活動に参加して楽しめるようにします

地域で引き継がれてきた囃子連や音楽祭、文化祭など、区民の多彩な文化活動がさらに活性化するよう支援します。活動を紹介するポータルサイトを作成し、情報発信を充実します。

また、区には、庚申塔や富士塚などの歴史文化遺産、光が丘美術館、ちひろ美術館東京や唐澤博物館など、民間文化施設も数多くあります。人気の高い和菓子店や洋菓子店、23区初のワイナリーなど食文化資源にも恵まれています。これらのスポットを巡る散策やポタリングのコースを区民とともにつくります。

③ 文化芸術活動のための舞台を整備し、担い手を育成します

美術館は、新たな活動にふさわしい施設とするため、大胆な発想でリニューアルし、内容を充実します。

美術館をはじめ、練馬文化センター、大泉学園ゆめりあホール、石神井公園ふるさと文化館・分室を、練馬区文化振興協会が一体的に運営する体制を整えました。施設連携イベントやまちなかコンサート、区民手づくりの舞台公演「ねりパフォ」の開催など、区民と協働して、文化芸術活動を広げていきます。

若手芸術家を育てるため、区内大学等と連携し、音楽家の登竜門となる新人演奏会を充実するとともに、創作活動の場を提供します。